

みやまパワーHD代表取締役

磯部 達氏

多くの自治体が人口減少や高齢化、それによる地域の活力減退といった課題を抱えるなか、私の住む福岡県みやま市は人口3万8000人の小さな市だが、地域資源である再生可能エネルギーを活用する地域新電力会社「みやまスマートエネルギー」でまちの活性化に貢献している。

地消を実現すること②市内での雇用を増やして経済を活性化させ、若い世代や高齢者にも働く機会を生み出すこと③このまちに住み続けたいと思えるサービスの充実を図ること——などである。

調達する主な電力は太陽光発電だ。13年7月、市や市内企業の出

や新たなビジネスチャンスの創出、暮らしやすく魅力に満ちたまちづくりの実現を目指している。

そのため電力事業と並行して生活支援サービスを提供。みやまスマートエネルギーでは、地元の農産物加工品をネットショップで販売する「みやま横丁」や日常の困り

電力事業で新たな展開 未来に向け施策も次々

設立の目的は市外の電力会社に支払う年間電気料金40〜50億円という貴重な富を市外に流出させるのではなく、地域のために活用できないかと考えたからだ。

設立の狙いは①市内のエネルギーを市内で使うエネルギーの地産

資による特定目的会社が、市の土地に5000坪[※]のメガソーラー

を設置し運営を始めた。そうした電力の市内活用のため15年3月、市を筆頭に地域新電力会社を設立し、電力の小売り事業を始めた。18年度は約24億円を売り上げた。

電力の小売り自由化は電気料金を低減し、消費者に選択肢を与えることなどを目的としている。当社はそれに加え、行政課題の解決

経済の循環にも寄与している。

卒FITを見据え、今後も市や国の施策と連携しながら、行政ではできない地域活性化サービスを展開していきたい。さらに電力事業の収益を健康づくりや教育プロジェクトなどに生かすことで、地域住民の皆さんの理解と賛同を広げ、その結果として契約者が増えていくという好循環を大切にしていきたい。

